

九月十五日(月)塚脇小学校体育館で、玖珠地区老人・婦人・青年連絡協議会(会長 梅木三八)主催のレクリエーション大会が開催されました。

老・婦・青 レクリエーション大会

授、続いて後藤町長ほか来

この大会は、世代間を超えた地域づくりを目的に毎年開催され、今年で二十九回を迎えました。開会式では、梅木会長が「けがのないよう注意して楽しく競技をしましょう」と挨拶



山浦地区代表者に予め選手宣誓



90歳以上の高齢者の方も元気に体操

寶の方に祝辞をいただきました。

会場には九〇歳以上の元気な高齢者の方が三名足を運んで下さり、婦人会より「感謝の言葉」とお祝いの品が贈られました。

準備体操の「めじるんダンス」で、体をほぐした後、塚脇、山田東、小田、山浦の四つのチームに分かれ優勝を競い合いました。

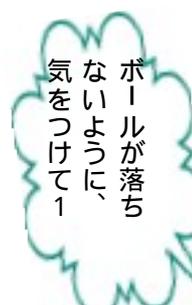
恒例の「そろそろ急げ」や「尻圧測定」など、和やかな雰囲気の中にも真剣な表情で各競技が行われた結果、優勝は「山田東」準優勝は「塚脇」でした。

競技の後には、婦人会のス



きれいに揃った、婦人会によるスポーツダンス

ポーツダンスに続き盆踊りが行われ、体育館いっぱい大きな踊りの輪ができました。



ボールが落ちないように、気をつけて!



寺村の女性グループ

紅白玉の贈り物

寺村の女性のお年寄りグループ七人が、塚脇小学校に、紅白玉二百個を贈りました。

贈呈式は、九月十二日の運動会りハーサルの日に行われ、寺村の最高齢者梅木キクエさんが「仲良く使って下さい」と、手作り紅白玉を贈り、児童会長の麻生菜那さんがお礼の言葉を述べました。

塚脇小学校へ200個

寺村地区で「楽しみの集い」を開いているこのグループは、地域に貢献しようと六月から月に何回か寺村公民館に集まり、綿入りの紅白玉をそれぞれ百個ずつ

作りました。九月二十三日に行われた運動会本番では、二年生の団体競技「チャレンジ塚小オリンピック」で、新品の紅白玉が使われました。

